



Creating My Future

子供の成長を促す行事～日本をひらく 我らは附属小学校～

副校長 新田 英樹

学校では、1年の中でスポーツ祭や発表会を大きな行事と押さえています。ですから、学校は行事の本番を迎えるまでの間、特別時間割を組み、集中練習をする場を設けます。

私は、この練習期間を見るのが大好きです。それは、その期間中に見せる「思ったとおりに進み喜ぶ顔」「上手いかず困った顔」等が見られるからです。また、大きな行事では、子供たちにとってクラス内だけでは味わえない多くの人との協働場面が生まれます。その中で子供たちには各学年の発達段階なりの「自立」「自律」「許容」の心が育まれていきます。私は、副校長として学校全部の子供たちの成長する様子をタイムリーに見ることができ幸せに思います。



このように学校では行事を通して、通常学校生活+αの力を育みます。そして、学校は行事を「一大イベント」という「点」で捉えるのではなく、校訓【強く・明るく・正しく】という大目標へのプロセスの一部であると考えています。もちろん、普段の学校生活（授業や遊び、給食、掃除等）もそうです。その意識を学校（教職員）だけでなく、子供や保護者にももってもらうことが大切です。

そのために保護者の皆様には、あらためて本校が目指す「子供の姿」を校歌の一部を用いて説明します。

- 1番 ～～まどかに育ち 優しく強く 我らは附属小学校
- 2番 ～～力にあふれ 誇りも高く 我らは附属小学校
- 3番 ～～歩み正しく 日本をひらく 我らは附属小学校

イメージとして3番は「卒業後になってほしい姿」（今では世界をひらくかもしれませんが…。）

1番は全学年ですが1～3年生までにはしっかり身に付けたい力。2番は4年生以上でしょうか。

私は平成16年に一般教諭として赴任し、着任式でこの校歌を聞いたときの驚きは今でも忘れません。♪我らは附属小学校♪、♪日本をひらく♪。なんとこの校歌でしょう。そして、中には本当に日本をひらくような職に就いて活躍する卒業生もいるという。

何卒、保護者の皆様におかれましては、これらの姿を意識しながらご家庭でもご指導（声掛け）をしていただきますようお願いいたします。また、「背中で見せる」というのも大変有効な手立てですので、実践されることもお願いいたします。学校と保護者が一丸となり、長い目で子供を育てていきましょう！



末筆になりますが、桐の子発表会の保護者鑑賞日における種々のご協力ありがとうございました。コロナ感染状況は、まだまだ予断を許さない状況にありますが、子供たちの成長を保護者の皆様に間近で見ただけのよう、可能性を探ってまいります。今後とも学校活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

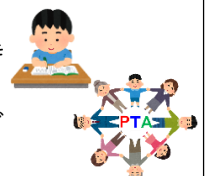
～欠席や遅刻の連絡について～

いつも欠席・遅刻等連絡フォームをご活用いただきありがとうございます。さて、この連絡フォームを含めた欠席や遅刻、下校方法などのご連絡ですが、行き違い防止のため、**Google フォーム、お電話ともに8:10までにはご連絡ください**ますようご協力をお願いいたします。また、授業等の関係で、朝以外の時間にフォームでその日の早退等のご連絡をいただいても確認できない場合がございます。緊急の場合はお電話でご連絡ください。よろしく申し上げます。

～本校ホームページをぜひご覧ください～

本校 HP では、様々な活動について紹介しています。「学校生活」には子供たちの様子を、「PTA 活動」には各部の活動の様子を掲載し、広く情報を発信しております。

不定期で更新いたしますのでお時間があるときにご覧いただけますとともに、お知り合いの方にもぜひご紹介ください！



桐の子発表会を振り返って～実行委員長から一言～

「桐の子発表会を終えていかしてほしいこと」

今年度の桐の子発表会のテーマは、「虹色の絆～自分のできることを自ら探し、協力、全力、笑顔で虹をかけよう～」でした。練習では、よりよい劇にするための方法を協力して考えたり、全力で取り組んだりしていました。そして、本番では、どの学年も笑顔を意識している姿が見られました。

桐の子発表会で学んだ成果や課題をこれからの学校生活にも生かして行ってほしいと思います。実行委員会へのご協力ありがとうございました。

令和4年度 桐の子発表会実行委員長 黒川 果歩

前期の児童会を振り返って～児童会会長や各委員長から一言～

9月30日で前期の児童会活動が終了しました。今年度もコロナ禍で活動に制限がある中、自分たちでできることを考え、学校をよりよくしようと取り組んでいました。児童会会長と各委員長から前期の活動の振り返りや委員会活動を通して学んだこと、身に付いた力について振り返っていただきました。

「学校のリーダー」

私は、6年生の前期に児童会長を務めた。児童会長の経験を通して、学んだことがある。それは、仲間と支え合う力、あきらめずに全力で最後まで取り組む力だ。これは、仲間たちと一緒に挑戦して、いろいろなことを乗り越えられたからだと思う。

児童会長の経験をこれからの学校生活や新たな委員会活動などに生かしていきたい。

令和4年度 前期児童会会長 木下 佑月

「生活委員長としてがんばったこと」

ぼくは、前期生活委員長としてがんばってきたことが2つあります。

1つ目は、あいさつ運動です。生活委員全員で毎朝あいさつをすることで学校全体を明るくすることができました。2つ目は、ポスター作成です。学校のルールを再確認することができました。後期は、スポーツ委員長としてがんばっていきたいです。

前期生活委員長 首藤 孝太

「委員長になって」

ぼくは、前期放送委員長になって、学んだことと反省すべき点があった。学んだことは、意見をまとめる力だ。立候補する前はあまり得意ではなかったが、回数を重ねるうちに自然とまとめやすくなっていった。反省点は、計画的に進めることができなかったことだ。これらを生かし、何事にも欲張りすぎずにわかりやすくまとめていこうと思う。

前期放送委員長 岡 結大

「まとめる力」

私は、スポーツ委員長になって学んだことがある。1つは、まとめる力だ。私はスポーツ委員長としてみんなの前に立ち、やることを発表するごとにまとめる力がついた。それは、副委員長や委員、先生方のおかげである。まとめる力を前期のうちにつけることができたので、後期には、そのまとめる力を生かして学校生活を送っていききたい。

前期スポーツ委員長 中田 夢華

「目標に向かって」

令和4年度前期の図書委員会は、明るく楽しい雰囲気の中で活動することができました。コロナ禍ということもあり、感染対策のポスター制作や本の消毒をして、みんなで協力してやり遂げることができました。志半ばで終わってしまった活動もありましたが、委員会全員で目標に向かって活動できたので、無事に活動を終えることができました。

前期図書委員長 嶋田 咲羅

「委員長として」

ぼくは、今回初めての委員長になった。いろいろやって楽しかったが、かなり苦労もあった。素晴らしい人を見つける MVP の活動が1回しかできなかったことも反省点である。でも委員長として会をまとめることができてとてもよかった。こんな経験ができてとてもよかった。まとめる力、計画を立てる力などをこれからの学校生活に生かしていきたい。

前期代表委員長 多田 怜平

今後も Creating My Future で子供たちの活動の様子を伝えていきます。お楽しみに！



～お知らせとお願い～

よろしく願います



児童の登下校について

本校では、子供たちに自立心と自律心、他者意識を育むために、児童の登下校は自力通学（徒歩または公共交通機関による通学）としています。**特別な事情がない限りは自家用車による送迎を認めておりません。**子供たちの健やかな成長のためにご理解とご協力をお願いいたします。

※ ケカやご家庭の事情で送迎が必要な場合には、担任または学校まで、お電話、フォーム、連絡帳等でご相談ください。